

登録コード	UAA08500	開講年度	2026				
授業題目	哲学思想論総合演習					担当教員	篠原 成彦
						副担当	護山 真也
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・6時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。					代表的な哲学の問題を批判的に検討することを通じて、他者の受け売りではない自分独自の思考を練り上げることができるようになる。	
(2)授業の概要	英文で書かれた、自己や心の在り方に関する哲学思想の学術書や論文を講読します。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し、内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。						
(3)授業計画	第1回：イントロダクション（護山，篠原） 第2回：“The Who and the How of Experience”の解説（篠原） 第3回：“The Experiential Self”の解説（篠原） 第4回：“Nirvana and Ownerless Consciousness”の解説（護山） 第5回：“Self and Subjectivity”の解説（篠原） 第6回：“Self-No-Self”の解説（護山） 第7回：“Subjectivity, Selfhood and the Use of the Word ‘I’”の解説（篠原） 第8回：“I am of the Nature of Seeing”の解説（篠原） 第9回：“Situating the Elusive Self of Advaita Vedanta”の解説（護山） 第10回：“Enacting the Self”の解説（護山） 第11回：“Radical Self-Awareness”の解説（篠原） 第12回：“Buddhas as Zombies”の解説（護山） 第13回：各受講者の哲学的関心に基づく総括的プレゼンテーション（前半）（護山，篠原） 第14回：各受講者の哲学的関心に基づく総括的プレゼンテーション（後半）（護山，篠原） 第15回：前回までの総括的プレゼンテーションを踏まえた討議（護山，篠原） 定期試験：行わない。						
(4)成績評価の方法	発表・討議の水準・参加姿勢（50％）、最終レポート（50％）の割合で評価します。 得点率による評価基準 90％以上 秀、89 - 80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。						
(5)成績評価の基準	成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	自分の担当箇所について事前に入念に準備し、演習の結果を受けて事後に修正を加えることは、最低限行ってください。そのうえで、担当箇所以外についても、教科書・参考書を熟読玩味することが必要です。						
(7)履修上の注意	大学院生としての自覚をもって履修してください。						
(8)質問、相談への対応	以下のアドレスにメールを送ってください。 nshinoi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	M. Siderits et al. (eds.), Self, No Self? Oxford University Press, 2011など						
【参考書】	中村元『比較思想論』（岩波書店，1960）等。						